



ボラン・て 10月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

～今できることを～ 工夫して 一歩踏み出したい！withコロナ



子ども食堂「おぎよん」の東海林 明さん・紀子さんご夫婦(前列)と、都立荻窪高校美術部顧問の茂木 良介先生(後列右から2番目)、美術部員の皆さん。後列左から立木 翠さん、大谷 泰陽さん、坂田 風雅さん、王 鏡涵さん、柴山 日杏さん。

詳細は2面をご覧ください。

【特集】～今できることを～ 工夫して 一歩踏み出したい！withコロナ 子ども食堂「おぎよん」×都立荻窪高校 美術部

3面・・・センターからのお知らせ

裏面・・・「星に語りて～Starry Sky～」上映会

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集】

～今できることを～ 工夫して 一步踏み出したい！ withコロナ

【特集】～今できることを～では、新しい生活様式の中で、一步踏み出し活動している様子をお伝えします。今回は、子ども食堂「おぎよん」の東海林 明さん・紀子さんご夫婦と、都立荻窪高校美術部顧問の茂木 良介先生、部員の坂田 風雅さん(2年)、王 鏡涵さん(2年)、立木 翠さん(1年)、大谷 泰陽さん(1年)、柴山 日杏さん(卒業生)にお話をうかがいました。

「コロナ禍の高校のニーズ」×「地域のために役立てたい」 ＝笑い声が聞こえる場所

美術部の活動をかたちに

都立荻窪高校美術部では毎年、文化祭のための看板制作があります。昨年と今年は、コロナ禍で部活動が十分にできないだけでなく、文化祭に向けた制作も叶いませんでした。荻窪高校の目の前に自宅を構える東海林さんご夫婦がそのことを聞き、子ども食堂のフリースペースとして改装中の壁が空いていると話したことがきっかけで、夏休みに壁画制作の活動が動き出しました。



▲壁画制作の様子

外航船の船長として世界を回ってきた東海林 明さんは昨年、東京湾の水先人を辞め荻窪での地域生活へ。自宅の1階と地下が空いていたので、「地域のために役立てたい」と模索していました。行政など地域に関わる様々な場所へ情報収集に行きましたが、新型コロナウイルスの影響で活動につながる一步を踏み出せずにいました。

そのような中、東海林さんご夫婦から杉並区社会福祉協議会（以下、杉並社協という）に相談がありました。妻の紀子さんが調理師免許を持っていることを活かして、子ども食堂としての活用を話し合い、1年がかりで『おぎよん』オープン準備を行いました。

一方で杉並社協では、地域の居場所の把握のため、荻窪高校に高校生の状況をうかがった経緯があるため、近隣に位置する東海林さん宅と荻窪高校との顔合わせの機会をつくり、そこでつながったのが壁画制作の話でした。

コロナ禍の高校生の居場所

荻窪高校は朝・昼・夜の時間帯からなる三部制の定時制高校です。時間帯が入り組んでおり、また様々な生徒が在籍しているため、授業外での居場所が課題でもありました。

しかし、コロナの影響で近隣施設が縮小、閉鎖し、座って話せるベンチもなくなってしまったのです。学校や社会と関わりたいと思って部活に参加する生徒の活動時間や話し合いの場所がなくなり、困っている様子も見受けられました。学校として、生徒の居場所や活動の場をつくらなければならないという思いがあったのです。



美術部の思いが込められた
クジラの壁画アート

withコロナで新たな挑戦！

コロナ禍の活動に不安もあったという茂木先生。常に換気や感染症対策、部員の体調管理を徹底し、夏休みの14日間で完成させることを決めました。「彼らにとっては4年間あるいは3年間しかない高校生活。今できることを精一杯やって、経験を活かして次のステップに踏み出してほしい。この思いを受け入れてくれた東海林さんに感謝しています」と話してくれました。

現役部員は1年生2名、2年生2名の合計4名。仲間と絵を描くことに魅力を感じて入部したという立木さんは、「コロナ禍だからと諦めていた共同制作が叶い、貴重な経験となりました」。卒業生の柴山さんは、「現役部員は文化祭を経験できていない。美術部として新たな挑戦ができました」。2年生の王さんは、「家の壁に絵を描くのは皆初めて。美術部の先輩も来て一緒に絵を描き、東海林さんの家楽しい居場所となりました。」と笑顔で話してくれました。また、好きな映画のイメージを取り入れたという大谷さんは、「絵が会話の種になり、高校生だけでなく多世代で交流できる場になれば嬉しいです」。部長の坂田さんは、「下見をしてデザインやコンセプトを話し合いました。この場所が地域に根付いていくことを想像します」と、これから人の輪が繋がっていく『おぎよん』に希望を込めた言葉で語ってくれました。

東海林さんご夫婦は、「絵の進捗状況を見るのも楽しかったが、あちらこちらでみんなの笑い声が聞こえて元気をもらえました。子ども食堂のオープンをきっかけに、地域で活動する魅力的な人たちとのつながりも広がりました」と話してくれました。

○子ども食堂「おぎよん」

荻窪4-11-15 キャプテンズキャビン荻窪

毎月2回(第2・第4金曜)当面は事前予約制

電話: 03-6311-0426

メール: ogi4.kodomoshokudo@gmail.com



facebook

○東京都立荻窪高等学校

荻窪5-7-20

<http://www.ogikubo-h.metro.tokyo.jp/site/tei/>

杉並区社会福祉協議会 杉並ボランティアセンターは、様々な災害支援のボランティア活動と交流を行ってきました。この経緯を振り返ると共に、これからの備えや私たちができることを考えます。

第4回目となる今回は、福島県南相馬市役所職員 大和田 智之さんからのメッセージです。

経験や教訓を活かして ～ 南相馬から ～

2011.3.11 大地震、大津波。

一瞬にして、私が過ごしてきた“ふるさと”が壊れていく。そして、追い打ちをかける原発事故。

食料などの物資が入ってこない状況が続く、市内での避難生活に限界が生じた。もう妻と子は市外へ避難するしかなかった。私はもう会うことができないかもしれないと覚悟しながらも、精一杯の笑顔で見送った。

これからどこに行くのかさえ知らないまま、ふるさとを後にする不安げな表情の人たち。知らない土地に避難することはとても不安なことだろう。でも、避難先では、優しく、そして温かな人の心に触れた人がたくさんいた。

この場をお借りして“ありがとう”。



▲杉並や様々な地域と南相馬とをつなげるメンバー 大和田さん(後列中央)

時は流れて、当時の避難先の方との交流は今でも続いている。南相馬に来る人は「ただいま」、出迎える人は「おかえり」と言葉を交わす。そこには家族のようなつながりがあった。

杉並で災害が起きた時、私たちは、すぐにつなげることはできないだろう。でも、離れていてもつながっていることを思い出してほしい。防災グッズの中には、見ることはできないけれど、感じるができる人と人との“つながり”を入れておこう。日常につながりを作る機会を作っておこう。

(文・福島県南相馬市役所 大和田 智之)

ご報告

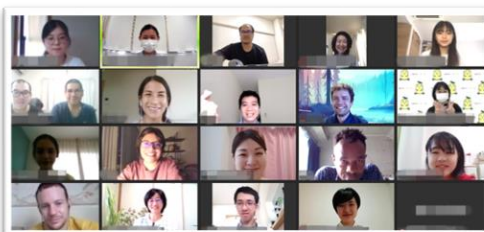
夏ボラのご参加 ありがとうございます

夏のボランティア体験2021(通称:夏ボラ)では、多くの方々にご参加いただきました。

高齢者施設へ贈る折り紙の作品は、のべ 87 件、福祉施設の利用者や職員へ贈るお手紙は、のべ 175 件の方々にご協力いただきました。北海道から九州まで、日本各地から皆さまのお気持ちを届けてくださり、ありがとうございました。

作品やお手紙は、ボランティアの方に整えていただき、杉並ボランティアセンターの職員が施設へお届けします。当センターのホームページにも掲載しますので、ご覧ください。

みんなで作ってみよう！▶



◀ Zoomでエンジョイ★ 国際交流



開催 します！

やってみよう！オンライン ～Zoom編～

オンライン初心者向けのミニ体験会を開催します。実際にZoomをつないで話してみましよう♪

日時 10月23日(土)10:00～11:00

会場 ウェルファーム杉並2階会議室2
(天沼3-19-16)
またはご自宅からの参加

お問合せ 電話またはメールで、
杉並ボランティアセンターへ



読者アンケート結果

皆さまからのお声を届けてくださり、ありがとうございました。今後、いただいたご意見を「ボラン・て」紙面づくりに活かしていきます。

改善点として、文字の大きさや情報紙の配布場所を見直しました。

アンケート結果の詳細は、当センターのホームページおよび右記QRコードからご覧いただけます。

今後も皆さまのご意見をお待ちしています。



★杉並・グルメ・さんぽ★

特定非営利活動法人ラルゴ とうふ屋らるご
(上荻4-26-11) TEL: 03-3399-1338
<https://www.toufu-largo.jp>



生地の半分が
おとうふです！

とうふドーナツ
250円 (5個入り)



Internet Radio

FMすぎなみ on YouTube

「すぎラジCONNECT」で月に1回、ボラン・ての内容を紹介していただきます。

<https://fm-suginamijimdofree.com/>

星に語りて Starry Sky

入場無料

映画上映会

2021年11月3日(水)文化の日 14:00から
会場:西荻地域区民センターホール(桃井4-3-2)



・中央線「西荻窪駅」下車徒歩15分
・中央線「西荻窪駅」北口からバス
井荻駅行き・荻窪駅行き「桃井四丁目」下車1分



©きょうされん

監督:松本 動

★ 映画紹介 ★

東日本大震災から10年。
「星に語りて~Starry Sky~」は、
震災当時の障害者の状況と支援
者の活動について、当時を知る証
言者たちへの取材に基づき撮影さ
れた映画です。

多くの方にご覧いただき、同じ地
域に暮らす住民として、災害時の
障害者への支援を考える機会とし
たいです。

★ タイムスケジュール ★

13:30 開場
14:00 開会
14:10 上映開始(115分)
16:05 上映終了
コメントセッション(20分)
16:30 閉会 映画会の振り返り

★ 注意事項・ご案内 ★

必ずマスクの着用をお願いいた
します。受付の際に検温と手指消
毒にご協力ください。体調のすぐ
れない方は参加をお断りする場合
がございます。
当日は音声ガイド・字幕付きのバ
リアフリー上映を実施いたします。

※事前申込制 定員100名(先着順)

【申込み・問い合わせ先】

社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター
ホームページ内専用フォームまたは下記へ
申込締切 10月29日(金)



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行: 社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp

うえるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間: 火~土曜日
8:30~17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他